

自主・自由・自立の精神と実践の力を持つ人材の育成

Tennoji High School
Attached to OCU

教育目標

本校は「自主・自由・自立」を尊重する基本精神のもと、次の3つを教育目標として掲げ、これからの世界を担う生徒を育てています。

- 豊かな教養を身につけ、深く思考する力を育てる。
- たくましい心身をつくり、確かに実行する力を育てる。
- 魅力ある個性をのびし、しなやかな感性を育てる。

本校の歴史

本校は昭和31年4月1日に、大阪学芸大学の附属高等学校として設立されました。当初1学年2クラスで始まりましたが、昭和37年に各学年3クラス、昭和40年より4クラスに拡大し、昭和42年には大学名の変更により大阪教育大学教育学部附属高等学校天王寺校舎に名称変更、さらに平成16年の国立大学法人化に伴い、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎となって現在に至っています。

本校は創立以来、生徒の自主性や主体性を尊重する校風のもと、知的好奇心を育てながら幅広く学問の基礎を学ぶ場として、また生徒同士、教師と生徒が互いを信頼しあいながら成長していく場として発展してきました。多くの個性的な卒業生が、社会のさまざまな場面で活躍しています。



学びのもり

ごあいさつ

本校は、大阪教育大学の附属高等学校として、長年にわたり理にきており、その成果は教育界にとどまらず、多方面に有為な習活動においては、基礎・基本に重点を置いた中身の濃い授業をするプルーフや生命論、環境論といった学校設定科目などを横系としています。

本校は、「試験監督のいない学校」に象徴されるように、自己責任に裏打ちされた自由な校風が特徴です。クラブ活動の他、附高祭や音楽祭、研修旅行や野外日間歩き通す百粒徒歩など、年間を通して多彩な行事が展開されています。伝統に培われた重厚な教育環境と、進取の気質が尊重・重視される校風のもとで、本校では多くの社会のリーダーを輩出してきました。先輩方に負けぬよう、大きな志を持ち、知的好奇心にあふれるみなさんの入学を期待しています。

21世紀は、社会が複雑に変化し、国際化とともに科学技術が飛躍的に発展しています。が、一方でCOVID-19の脅威など国際社会が連携して立ち向かうべき課題にも数多く直面しています。このような21世紀の社会を生き抜き、支えることができる人材の育成が急務です。伝統に培われた重厚な教育環境と、進取の気質が尊重・重視される校風のもとで、本校では多くの社会のリーダーを輩出してきました。先輩方に負けぬよう、大きな志を持ち、知的好奇心にあふれるみなさんの入学を期待しています。

論的・実践的な教育研究を蓄積し、貢献をなしています。日常の学習活動においては、基礎・基本に重点を置いた中身の濃い授業をするプルーフや生命論、環境論といった学校設定科目などを横系とする充実した教育課程を編成しています。

責任に裏打ちされた自由な校風が特徴です。クラブ活動の他、附高祭や音楽祭、研修旅行や野外日間歩き通す百粒徒歩など、年間を通して多彩な行事が展開されています。伝統に培われた重厚な教育環境と、進取の気質が尊重・重視される校風のもとで、本校では多くの社会のリーダーを輩出してきました。先輩方に負けぬよう、大きな志を持ち、知的好奇心にあふれるみなさんの入学を期待しています。



大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
校舎主任 田中 満公子

本校の特色

1. 大学の附属学校として

本校は大阪教育大学に附属する高等学校として次のような使命を担っています。
〈研究学校〉大学と一体となって教育の理論および現場の教育の実践に関する研究を行います。
〈実証学校〉教育研究の結果、到達した理論を実験・実施し、広く教育界の参考に供します。
〈実習学校〉大阪教育大学を中心とした学生の、教育実習の場となります。
〈現職教育学校〉大阪府立諸学校との人事交流等を通して、現職教員の再教育の一端を担います。

2. 学習指導

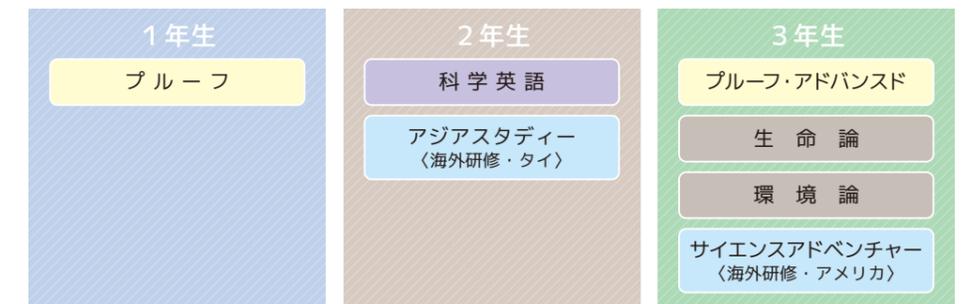
学習の基本は毎日の授業です。
本校では専門性の高い教員が、創意工夫した授業を展開しています。実物に触れることを重視し、本物体験を積み重ねることで、実地と結びついた高い学力が育ちます。小規模校であることの特色を生かし、生徒の個性を尊重した指導を心がけています。

3. 特別活動・自治会活動

実践に結びつく力を育てるには、多様な場面での活動経験が必要です。生徒の主体的活動である自治会を中心として、行事などの特別活動に取り組むことで、授業で身につけた力を実際に使えるものへと高めます。

科学のもり

本校は平成21年度から、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、第二期では、「科学的議論と体験で科学を担う次世代人材の育成のための教育実践」をテーマに開発研究に取り組んできました。その成果は、「科学のもり」プログラムとして、下記のような科目および海外研修に引き継がれています。



「科学のもり」プログラム

このような授業・海外研修以外に、さまざまな分野の専門家を講師に招く講演会や、各種研究機関を訪問し実習や専門家の講義を受ける宿泊研修等を企画、実施しています。また、自分たちの研究成果を生徒研究発表会や各種学会、交流会等で発表し、評価を受けています。

「科学のもり」プログラムを通じて、
①能力的にも人間的にも魅力のある科学者・技術者を育成する
②基礎・基本の重視とさまざまな教科での取り組みにより、幅広い知識と科学の基本を育てる
③「科学への夢」「科学を楽しむ心」と生徒の個性と能力を伸ばすことを目指す



環境論



つくば研修 (KEK)



西はりま研修

教育課程

教育課程表（令和4年度入学67期生）

◆ 1学年 / 29~30単位	◆ 2学年 / 29~30単位	◆ 3学年 / 24~32単位	合計単位数 / 82~92単位
現代の国語 2	文学国語 2	文学国語 2	国語 12
言語文化 2	古典探究 2	古典探究 2	
地理総合 1	地理総合 1	地理探究 3	地理歴史 4+(0,3,6)
歴史総合 1	歴史総合 1	日本史探究 3	
公共 2	数学Ⅱ 3	世界史探究 3	(0,3,6)
数学Ⅰ 2		倫理 3	
数学A 2	数学B 2	数学Ⅲ 4	公民 2+(0,3)
物理基礎 1	物理基礎 1	(0,3)	
化学基礎 1	化学基礎 1	数学Ⅳ 2	数学 9+(0,2,4,6)
生物基礎 1	生物基礎 1	数学Ⅴ 2	
地学基礎 1	地学基礎 1	数学Ⅵ 2	理科 8+(0,4,8)
体育 3	体育 3	物理 4	
	保健 1	保健 1	化学 4
芸術Ⅰ 2	芸術Ⅱ 1	生物 4	
英語コミュニケーションⅠ 3	英語コミュニケーションⅡ 3	地学 4	芸術 3
論理・表現Ⅰ 2	論理・表現Ⅱ 2	(0,4,8)	
情報Ⅰ 1	情報Ⅰ 1	選択体育 2	英語 15+(0,2)
理数探究基礎 1	理数探究/総合的な探究の時間 1	(0,2)	
プルーフ (0,1)	科学英語 1 (0,1)	英語コミュニケーションⅢ 3	家庭 2
ホームルーム	ホームルーム	論理・表現Ⅲ 2	
		時事英語 2	情報 2
		異文化理解 2	
		(0,2)	理数探究/総合的な探究の時間 3
		生命論 2	
		環境論 2	科学のもり (0~7)
		プルーフ・アドバンスド 1 (0~5)	
		ホームルーム	

*太字は選択科目です。()内は選択可能な単位数を示します。
*芸術は、音楽・美術・書道から選択します。 *合計単位数は、ホームルームの時間数を含みません。

授業の特色

1. 通常の教科科目

特定の教科に偏ることなく、すべての教科科目を幅広く学習します。

基礎基本を大切にしながら、各教科分野の本質、学習や学問の本質に迫る内容を目指し、学ぶ喜びと楽しさを実感できる授業を目指しています。

2. 理数探究/総合的な探究の時間

1年では、全員が「理数探究基礎」を学習します。2年生以降の探究的な学習に必要な知識と技能を身につけ、課題解決のための基本的な力を養います。2・3年生では、「理数探究」か「総合的な探究の時間」のどちらかを選択し、各自の興味・関心に基づいて課題研究に取り組むことで、主体的な探究の力を伸ばします。

3. 科学のもり

1年「プルーフ」は、2年生で「理数探究」を選択して課題研究を行うにあたって必要な基礎的な技術や方法を学びます。また、2年「理数探究」選択者は自分の研究内容を英語で表現する「科学英語」を学びます。3年「プルーフ・アドバンスド」は、企業や大学などで実際に行われている研究活動について学びます。

「生命論」や「環境論」では、生命や医療、環境に関する題材を通して、現代的な課題に対する意見を形成し、その解決のための主体的活動につながる力を育てることを目指します。

4. 選択科目・学校設定科目

3年生では、自分の興味や関心によって学べるように、多くの選択科目と学校設定科目を設けています。教科の学習内容を深め、主体的に学習する能力を育成したり、入試への対応力を高めることを狙いとします。

5. スーパーサタデー

通常の授業日に実施できない課題研究や、高度な内容の補充授業、入試対策の演習等を土曜日に実施しています。希望する生徒が参加します。

「本物」に触れる

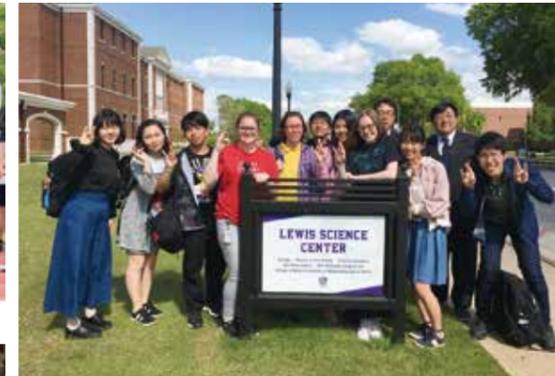
本校では、たくさんの「本物」に触れ、じかに感じる経験をするのが、直観や判断の力、知的センスを伸ばすのに役立つと考えています。授業以外に各種の行事、体験活動やフィールドワークの場で本物に触れることで、心と体を鍛え、育てます。

【一例】・体育大会やマラソン大会は、多くの学校で行われている「運動会」ではなく、本格的な陸上競技場を使用して行う「競技会、記録会」です。

- ・遠足は本格的な登山を中心とした、「歩く」行事です。
- ・文案、能、古典落語といった日本の伝統芸能を、3年間でひと通り鑑賞します。美術館・博物館の展示も見学します。
- ・一流の研究者等を招いて講演会を開催します。



体育大会(長居陸上競技場)



サイエンスアドベンチャー アメリカ訪問



地学野外実習(貝塚市蕎原)



高三生物授業



生命論 東京大学で行われたフォーラムで発表

研修旅行

学校から遠く離れた地域を訪れ、日常生活の中ではできない体験や学習を行なう修学旅行プログラムです。令和元年度の2年生は、長崎を経て屋久島にわたり、活動しました。事前学習を通じて現地について理解し、様々な体験活動を、主体的に行ないます。



屋久島



種子島



種子島

主な年間行事

- 4月 入学式
一斉検診
スポーツテスト
サイエンスアドベンチャー
- 5月 合宿訓練(1年)
遠足
- 6月 体育大会
教育実習
芸術鑑賞
- 7月 学期考査
個人懇談
- 8月 クラブ合宿
宿泊研修
- 9月 附高祭
教育実習
- 10月 研修旅行(2年)
特別時間割期間
遠足
博物館見学(2年)
姉妹校来日(アメリカ)
- 11月 地学野外実習
音楽祭
- 12月 学期考査
個人懇談
姉妹校来日(タイ)
- 1月 アジアスタディー
- 2月 マラソン大会
入学試験
卒業式
- 3月 学期考査
長距離徒歩

「すべての生徒に幅広い教養を」の理念に基づいたカリキュラム編成

本校では、2年生の終わりまで全生徒が同じ教育課程の授業を受けます。理系・文系といったクラス分けはありません。3年生では選択科目が人によって異なりますが、ホームルームクラスはそれとは関係ありません。高校で学ぶ事柄は、全ての人が教養として身につけなければならないという理念のもと、本当の意味で基本を固め

ることを重視しています。このことが、生涯学び続けるための基礎を作り、どんな分野・場面にも対応できる柔軟性・適応力を育てることにつながると考えています。その上でさらに各自の個性を伸ばし、最先端の探究活動に進めるようサポートします。

誇りある自由と規律 伝えゆく叡智の学園を いざ君と共に築こう

Tennoji High School
Attached to OKU

生徒指導

本校では、生徒の自主性・主体性を尊重しながら、自主・自立の精神を育むことを目指しています。
 教員は生徒との信頼関係を基礎に、生徒自らが学校生活における自分たちのあり方を考え、教員との協議も踏まえながら自分たちで決定し、活動するようにサポートします。その中心的な場になるのが「附高自治会」です。
 各種の行事だけでなく、生徒の主体的活動はすべて、自治会を中心として組織されています。
 学校生活を豊かで充実したものにするために、自治会活動は極めて重要です。

三大自治会行事

- 附高祭 — 創造の喜び
 舞台企画、模擬店企画など多くの企画を統合した、総合文化祭です。クラスや各種団体が一つになり、数日間わたって行われます。
- 音楽祭 — クラスの一体感
 選曲、編曲、練習を全て自主的に行い、クラスごとに合唱を競い合う行事です。クラスの一体感を味わえる、3年生にとっては最後の行事です。
- 百軒徒歩 — 新しい自分の発見
 山の辺の道、飛鳥など、歴史的な街道を含むコースを30時間近く歩き続ける伝統行事です。自然の中の道を、また歴史や文化に触れながら一昼夜歩くことを通して、自分自身を見つめ直し、友情や感謝の心を感じ取ります。



クラブ活動

本校ではクラブも、附高自治会の管理運営のもとにある、自主的組織です。その存続、新設、予算なども自治会の規定に従って審議、決定されます。多くの生徒が参加し、中身の濃い活動をしています。全国表彰を何度も受けた文化系クラブもあります。

体育系クラブ		文化系クラブ	
陸上競技	卓球	化学	文芸
テニス	水泳	地学	小倉百人一首かるた
バスケットボール	サッカー	生物	
バレーボール	ダンス	美術	
剣道		茶道	
硬式野球		取巻家	
ワンダーフォーゲル		漫画イラスト研究	



討論合宿で始まる附高生活

春の連休明けの5月、新入生は3泊4日の合宿訓練に出かけます。
 本校の新入生合宿は一般的な「オリエンテーション合宿」ではなく、別名「討論合宿」と呼ばれる訓練です。高校生になった自分自身を見つめなおし、他者との関係をあらためて考える場です。
 合宿の中心となるのは、全部で10時間以上にわたる討論です。いくつかのテーマに対して真剣に意見をぶつけ合って議論することで、知っていると思っていた友人に対しての、あるいは自分自身に対する見方を変え、新しい気持ちで高校生活を始めることとなります。
 討論合宿は、これから始まる自治会活動にむけての訓練だけでなく、3年間の授業の基礎ともなる大切な行事です。生徒だけの手ではどこまでできるのか、いま自分たちに何ができてこれから何が必要なのか、実感を持つことで諸活動に積極的に参加していくことを期待します。

進路指導

生徒一人一人がしっかりと将来の目標を持ち、そのために努力することをサポートするのが本校の進路指導の基本です。2年生の2学期には3年生での履修科目を決めますが、その時の成績だけではなく、本当にやりたいことは何か、しっかり自分を見つめながら考えさせます。目標のために何をすべきかを理解し、それに向けて最後まで努力するよう指導します。
 高校での諸活動をすべておろそかにすることなく取り組み続けることが、目標への近道です。すべてのカリキュラムを通じて将来長く通用する力を育成し、自信を持って進路選択させることを、本校は目指しています。

主な進学先（令和2年度入試結果）

国立大学	公立大学	私立大学	大学校
筑波 東京 信州 岐阜 京都 滋賀医科 神戸 大阪 大阪教育 奈良教育 和歌山 広島 北海道 奈良女子 京都工芸繊維	京都府立 大阪府立 大阪市立 神戸市外国語 奈良県立医科 和歌山県立医科 九州歯科	早稲田 慶応義塾 上智 明治 同志社 近畿 立命館 京都薬科 関西外国語 関西 関西学院 神戸薬科 関西医科	防衛 防衛医科